

市民の皆様から頂いた意見、提案等についての回答（ 事業提案 ）

- ※ 皆様から頂きました、意見等に対する今後の対応について、回答しています。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「総合戦略(27年度中策定)・「第6次総合計画(28年度中策定予定)」の欄に○印があるものについては、反映する予定です。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「公助・共助・自助」については、施策、事業を実行する場合に、誰が主体的に取り組むか示したものです。
- ※ 皆様から頂いた、ご意見について、緊急性、効率性、有効性等の観点で整理しました。ご意見等を否定するものではありませんので、ご理解よろしく申し上げます。

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	快速ひた号で福岡へ通勤・通学をしよう (生活に密着した久大線のダイヤ改正とそれに伴うひたはしり号のダイヤ改正)	日田から福岡や久留米都市圏等への通勤・通学が、より容易になることは、本市の人口減少対策の重要課題の一つと考えていますので、ご意見の内容も参考に、JRに要請等行っていきます。	<自助> 働きかけを行う	○	—	地域振興課
提案募集	日田市ICT情報発信推進化計画 (日田ICT情報発信推進室をつくり、市ホームページのリニューアルやWebデザイナーの人材発掘・育成等を行い、SNSを活用した日田の魅力の情報発信強化と製品のネット販売を支援する。)	28年度から、本市の認知度やイメージ向上のための情報発信等を行うシティセールスの部署を新設します。ご意見の内容も参考にさせていただき、事業を進めていきます。	<公助> 既存事業見直し	—	○	企画課
提案募集	日本一の大屋根プロジェクト (市街地中心部のまとまった土地を確保し木材と鉄骨を組み合わせた大屋根を設け、人工芝の「日本一の大屋根の広場」をつくる。)	中心市街地については、ご意見の内容も参考にさせていただき、今後、活性化策等を検討します。	<共助> 検討する	—	—	企画課
提案募集	庄手川商業利用計画 (3面コンクリート張りのウォーターサイド形状の区間を安全な川に整備する。水量も豊富なので、安全な川に整備できれば、川下り、ラフティング会社の誘致、加- 競技会の誘致としての観光財源となる。)	庄手川の管理者である国土交通省も、三川分派による安全で安心な河川整備を検討しており、整備にあたっては、ストック効果も重要視していることから、引き続き、自然景観を生かした整備要望を行います。 河川環境整備後、競技種目団体や関係機関と連携しながら、大会誘致等の取り組みについて検討します。 河川を活用する事業については、ひた水辺空間利活用推進協議会で協議を行い、必要があれば法律に基づいて実験事業等に取り組みます。	<公助> 取り組んでいる	—	○	都市整備課 社会教育課 観光課
提案募集	ふるさと市民制度の創設 (市外に住む日田出身者等にふるさと市民となってもらい、その人達を核に日田の良さを全国に広める)	「ふるさと市民」につきましては、いただいたご意見を参考に、現在の水郷日田ファン倶楽部や日田出身者、ふるさと納税者等を対象に制度を構築していきます。なお、日田市を戦略的・積極的に売り出していくため、平成28年4月から、市組織内に「シティセールス」部門を新設し、総合的なプロデュース戦略を進めることとしています。	<公助> 検討する	○	—	企画課
提案募集	ふるさとマーケットの創設 (日田の産品をネット販売する「日田ふるさとマーケット」を開設し「ふるさと市民」と「ふるさとマーケット」の間に持続的に発展できる信頼関係の仕組み等を構築する。)	日田玖珠地域産業振興センターが運営するオンラインショップ「ひたマルシェ」を充実させる中で取り組んでいきます。	<自助> 働きかけを行う	○	—	商工労政課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	進撃の巨人と連動したキャラクター看板を作成し観光資源として活用する 進撃の巨人記念館を設立し、聖地化による観光起爆剤産業の起爆剤として活用する 進撃の聖地 日田を目指してのモニュメント作成	ハード事業については、今回事業実施は難しいと考えます。ソフト事業については、観光協会で行っている観光誘客宣伝事業の中で検討します。また、民間での取り組みに対しては支援について検討します。	<共助> 検討する	—	—	観光課
提案募集	都市から日田市に「ひと」の流れをつくる （公共交通の充実を図り、周辺都市のベットタウン化）	移住定住を促進するため、JR九州等の公共交通機関に増便・時間短縮等積極的に働きかけ利便性の向上を促します。また、空き家バンクを活用し、空き家の有効利用を図ります。	<自助> 働きかけを行う	—	—	地域振興課
提案募集	日田の歴史全てを活かした観光の創生 （日田には歴史観光の拠点がなく、商工会議所、観光協会、日田市のホームページの連携もない。日田歴史の総合案内施設を中央公民館内に整備し各公民館と連携した広域歴史観光を創設すべきである。）	広域歴史観光の取り組みも観光事業全般のなかの一つのコンテンツとして、関係部署が連携しながら観光誘客宣伝事業として展開していきます。現在、市内の観光施設等に文化財マップの配布を行っていますが、今後、書籍「日田市の歴史と文化財」の一般版・子供版をホームページにも掲載し、情報発信を行います。地区公民館事業で地域の史跡めぐり講座等を開催していますが、今後は、地域遺産の魅力再発掘と共にそれらを活かすウォーキングマップ等を作成し、地域のまちづくり活性化に繋げていきます。また地区公民館で作成したウォーキングマップや「日田の歴史と文化財」等の書籍を中央公民館に設置し、普及啓発に努めます。	<公助> 取り組んでいる	—	—	観光課 社会教育課 文化財保護課
提案募集	林業の6次産業化及びブランド化に繋げる新規事業創出支援事業 （県外（海外）の林業活性化に取り組む地域や会社を視察し、日田の林業振興策を見つける。県外・海外への販路拡大への支援を行う。6次産業化によるブランド化を構築する。バイオマス等の研究開発部門、海外輸出部門、住宅関連部門、森林公園管理部門等、部門別組織を構築し、総合ブランド化を図り、循環型の林業モデルを構築する。）	提案いただいた内容についてはこれまでも様々な取組を行っているところですが、引き続き、「新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン」に基づく取り組みを推進します。	<公助> 取り組んでいる	○	—	林業振興課
提案募集	宿泊施設・温泉施設・観光事業に携わる「ひと」へのリニューアル事業 （隅地区の旅館リニューアルと共同温泉施設の新設。湯布院等に学び限・豆田地区の連携強化。周遊バスを運行し、回遊観光の歴史景観の豆田地区等のテーマパーク化。インバウンド対策。リピーターの誘発策）	既存の観光誘客宣伝事業や新規のインバウンド推進事業で対応を行います。観光地周遊バスについては、日田バスとの協議のほかタクシー対応なども考えられることから、民間で事業化を行うものについて必要であれば支援を行います。	<共助> 検討する	—	○	観光課 地域振興課
提案募集	女性・結婚・定住者に優しい事業 （若者の結婚・地元定住策として、独身男女を節目毎(成人・入社・25歳時等)にパーティーを日田市が無料で主催、結婚・定住・子供出産・住宅購入等を促す。定住者の結婚・出産時には、特典として日田市内でのみ利用可能なプレミアム商品券を付与する等のインセンティブを検討する。子連れ女性の雇用促進等を行い、女性が働き易く子供に安心な環境作り支援を行う。以上、若者・子育て支援の協力業者にプレミアム商品券を付与する。）	若い世代の結婚から出産・子育てに対しては、多種多様な支援が考えられますが、財政的な制約もありますので、ご意見の内容も参考に検討します。また、28年度中に協議会の立ち上げを検討していますことから、その中で対応を考えていきます。	<公助> 検討する	○	—	企画課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	女性・結婚・定住者に優しい事業 （保育園・幼稚園の保育時間延長・夜間保育所の支援、小学生の児童待機所の確保・時間延長の支援を行う。子連れ女性の雇用促進等を行い、女性が働き易く子供に安心な環境作り支援を行う。）	教育・保育施設の開園時間については、保育認定に応じて、保育標準時間の認定を受けた児童については、11時間保育となり、施設も保育時間に合わせた開所を行っています。 また、施設においては、開所時間の前後の時間帯において延長保育の実施など、保護者のニーズに応じた体制を整えています。 また、小学生については、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後、平日においては、おおむね15時から18時まで小学校の余裕教室や専用施設などを利用して適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業で、16校区17クラブでその活動を行っています。夜間に就労する保護者の夜間保育の実施や児童の預かりについての保護者ニーズは不明です。 小中学生の保護者の負担軽減については、奨学金、遠距離通学者補助、要保護・準要保護就学援助、補助教材費購入補助など手厚く実施しており、これらを継続していきます。	<公助> 実施しない	—	—	こども未来室 教育総務課
提案募集	高齢者を含む移住者の支援事業 （日田市の人口は年々減少。若者の都市部への集中化を鑑み、行政指導で日田市中心部に医療・介護の地域連携を高めたコミュニティーを形成して「老人の住みやすいまちづくり」を行い、都心部（福岡・関西・関東圏）等から、住みやすい日田への移住者支援を行う。都心部等へキャンペーンを実施する。高齢者へは、ケアマンション等を紹介。インセンティブある状態で提供する。（例えば数組で専属家政婦のシェア付等）。高齢者以外の移住者には、雇用した企業への助成金等や1次産業従事者へ奨励金等、様々なインセンティブを付与する。介護施設事業の強化（増設）、医療・介護事業の雇用斡旋強化を図る。）	高齢者の移住促進については、CCRC等特化したものがあり、現在、様々な情報収集等を行っているところですが、推進することによる課題等も整理する必要があると、慎重に対応したいと考えています。 また、若者等の移住希望者に対しては、ご意見のとおり、就農支援や住居確保に対する支援等を行います。	<公助> 検討する	—	○	企画課
提案募集	企業、事業所の誘致 （誘致に関しては、モデル（実績のある都市）を参考に。企業誘致の際の日田市のセールスポイントは何か）	日田市企業立地促進条例の立地企業指定要件の緩和や優遇策の改善を行い、企業にとって少しでも進出しやすい条件整備を行います。	<公助> 取り組んでいる （既存事業見直し）	○	—	企業立地推進室
提案募集	暮らしたいふるさと （学校跡地等を長屋風に改造、活用して、移住者の増加を図る）	学校跡地は、それぞれの地域の要望を聞きながら整備していますが、今後は移住施策にも繋げていく予定です。	<公助> 取り組んでいる	—	—	地域振興課
提案募集	たくさんの宝物のまち （行政と民間企業が協力してコミュニティ豊かなまちづくりに取り組む。）	自治基本条例に掲げる、市民や事業者、行政が一体となった「参画と協働」のまちづくりを推進します。 振興局管内では、住民が主体となってまちづくりを推進する新しい住民自治組織の立ち上げを検討しています。	<共助> 新規事業	○	—	地域振興課
提案募集	未来の環境づくり （普段山にはいない若者が車でもは入れるように林道整備を行うとともに樹種の説明板を設置し、興味を持ってもらう。）	若者に林業に興味を持ってもらう取り組みとしては、平成27年3月に策定した「新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン」による施策を展開し取り組んで行く予定です。 なお、林道の開設目的は適切な施業（山の管理等）のためのものであり、一般の方の利用は想定していないところです。	<公助> 取り組んでいる	○	—	林業振興課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	「ひたブランド」域外消費喚起事業 （「ひたブランド」商品をNTTぷららのひかりTVショッピングを活用したテストマーケティング実施）	外部への販促活動については、日田玖珠地域産業振興センターが運営するオンラインショップ「ひたマルシェ」を充実させる中で取り組んでいきます。	実施しない	—	—	商工労政課
提案募集	キャンピングカーでゆっくり観光できる日田市 （キャンピングカーが駐車できる場所を整備し、長期滞在に繋げる）	キャンピングカーの駐車環境等については、（仮称）奥日田デザイネ会議等の中で検討していきます。	<共助> 検討する	—	○	観光課
提案募集	ペレットストーブの導入促進と循環型社会の一步 （日田未利用材の新しい利用方法、チップは発電し、ペレットは暖房する）	未利用材については、現在発電用チップとしての利用が主であり、コスト的にも効果的な活用と考えます。他地域での木質バイオマス発電所の稼働も増え、原料の安定供給が課題となっておりますので、今後も発電用チップとしての利用を優先して進めます。	<共助> 実施しない	—	—	林業振興課
提案募集	ITインフラの有効活用による、地方事業の活性化 （観光・地域産業の活性化の基盤を構築する。日々拡大進化する情報のデータベース化。ひたIC認識カードを観光者他へ展開 等）	地域資源の活用を含めて、日田市の知名度を向上させることは今後必要と考えています。その取り組みにITインフラの活用は必要だと考えております。28年度よりシティセールスの強化を図ることから、その中で検討したいと考えています。	<公助> 検討する	○	—	企画課
提案募集	地域資源の掘り起こしと人材育成事業 「人材誘致・人材を育てる/産官民学連携」 （高等教育機関と連携し、地域の課題解決又は、地域づくりに継続的に取り組み、地域資源の再発掘及び地域の人材育成を行う。日田で研究活動を行える施設を整備。林業・農業などの基幹産業に限らず、食・福祉・教育など幅広い分野で取組む）	現在、大分大学を始め、別府大学、アジア立命館大学と包括協定を締結しています。しかし、具体的な取り組みが行われていないことから、提案頂いた内容を参考に、第6次総合計画を策定する中で検討したいと考えます。	<公助> 検討する	—	○	企画課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	<p>地域資源の掘り起こしと人材育成事業 「地域で育てる／学童保育などを含めた教育環境の充実」 （現在の学童保育ではフルタイムで働く若い世代の支援は手薄である。学童保育の組織の強化(公的機関による組織化 例／公民館事業団など)を行うことで、若い世代の収入の安定につなげる。また、小中一貫校などの新しい取り組みは進んでいるが、高校までを含めた学力向上へ地域全体で取り組んで行く。学力向上・日田ならではの技術を身につける・語学力向上など）。</p>	<p>放課後児童クラブは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後、平日においては、おおむね15時から18時まで小学校の余裕教室や専用施設などを利用して適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業で、16校区17クラブでその活動を行っています。現在の放課後児童クラブの開所は、日中働く保護者への支援を基本としており、夜間働く保護者に対しては利用できないことは認識しているが、利用希望者数や、運営主体の確保などの課題もあり、今後、保護者ニーズの把握とともに、利用形態など支援策について検討します。</p> <p>県内14市の放課後児童クラブの設置状況を見ると、平成26年5月時点で264クラブ開設されており、そのうち市が設置する公設のクラブは226クラブとなっている。運営主体から見ると、直営のクラブは9クラブ、NPO法人などが運営するクラブは45クラブ、残りの172クラブについては本市と同様運営委員会による運営形態です。そのような中、保護者の負担軽減策として、NPO法人などへの転換の意見もあるが、運営団体の体制整備などを考えると、現状では今すぐに転換することは難しいと考えます。また、合わせて行政が運営を行うことは考えていません。</p> <p>市教委では、高等学校の授業の基礎となる中学校までの学力定着のため、小中学校において確かな学力の育成を図っています。また、高等学校の教諭が中学校の公開授業研究会に参加し、学習方法等の共有を行うなど、中高の連携も行っています。</p>	<公助> 既存事業見直し	○	—	こども未来室 教育総務課
提案募集	<p>地域資源の掘り起こしと人材育成事業 「空き店舗・空き家の活用」 （中心部のみならず、日田市全域の空き店舗・空き家を活用する。活用方法の検討会（持ち主との調整・公共的に活用する場合の公的支援）を開催。窓口業務運営を組織化または強化。）</p>	<p>中心市街地については空き店舗調査を行い、利用可能な物件については情報発信していきます。空き店舗の活用方法については、民間主導でできるよう、商店街等との協議を進め、必要な施策を講じていきます。 また、移住者を増やすための住居の提供策としての空き家の活用は行っており、28年度から「ひた暮らし推進室」を新設し、更なる移住促進と空き家の活用を図っていきます。</p>	<共助> 既存事業見直し	—	○	商工労政課 地域振興課
提案募集	<p>地域資源の掘り起こしと人材育成事業 「市民の意識改革/暮らし方・生き方を創造する」 （田舎＝仕事がない、暮らしにくい、何も無い→田舎＝仕事を生み出す、豊かに暮らす。日田をどのような地域にしていくのか、明確なビジョンを市民が行政とともに共有する場所・集いをつくる場所の確保。）</p>	<p>日田市版総合戦略を策定し、「地域力日本一、持続可能なまちづくり」をオール日田で、仕事を生み出す、豊かな暮らしが実現できる施策を展開していく予定です。 明確なビジョンにつまましては、市民・行政が共有するために、28年度策定します第6次総合計画により位置づけ、と同時に、まちづくり集会の充実などから、場所の検討も考えております。</p>	<公助> 検討する	—	○	企画課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	<p>日田市リノベーション事業 「里山エリアへの特格的で豊かな住教育環境の整備及び子育て世代の移住支援」 （山間部の過疎を食い止めるために、里山の資源を活かした、豊かな住環境と特徴のある子育て教育環境を整備し、市内外を問わず子育て世代の移住を支援する。市内の3歳～5歳までの幼児の幼児教育に関わる費用はすべて無料。小学校はそれぞれの地域エリアのテーマに沿った目標を設定し、課外活動を充実する。中学校は、市内5つほどに再編し、それぞれ学校の特徴を明確にし、すべてのエリアから好きな学校の選択を可能とする。）</p>	<p>里山の資源を活かした住環境の整備については、28年度から各振興局単位で取り組みます、まちづくり会議の中で、地域に沿う特色ある取り組みを考える事が可能です。ご意見を参考に、この会議の中で議論を進めたいと考えています。</p> <p>幼児教育の費用につきましては、国は、幼児教育の無償化を目指しており、一部その取り組みを進めています。今後とも国の動向を注視しながら取り組んでいきます。幼児期の教育・保育に要する費用(利用者負担)については、国が定める水準の約7割程度の額で定めています。また、利用者負担の軽減措置として、多子軽減制度やひたっ子にここに保育支援事業について拡充を行い、子育て世帯の負担軽減を行うこととしています。</p> <p>各小・中学校での取り組みにつきましては、現在でも、地域の特性を活かした教育課程を編成し、地域の方の協力を得ながら、魅力ある学校づくりを行っており、新たな事業化は行いません。中学校の統廃合(再編)、学校の選択については、通学区域の拡大による通学時間が長くなるなど、生徒の体力・精神面での負担が大きくなることから現段階では実施しません。</p>	<公助> 既存事業見直し	○	—	地域振興課 こども未来室 学校教育課
提案募集	<p>日田市リノベーション事業 「福岡への直通通勤バスの整備と里山エリアへの深夜交通の整備」 （福岡都市圏で働いても日田市で暮らせるように、直行通勤バスの整備を行う。さらに子育て世代の移住と連携して里山エリアへの深夜バス・早朝交通の整備を行う。スクールバスの活用。）</p>	<p>日田福岡間的高速バスや、深夜便の運行等については、バス会社に働きかけ、利便性の向上を促します。里山エリアの深夜早朝交通に関しては、需要があれば対策の必要があると考えています。</p>	<公助> 検討する	○	—	地域振興課
提案募集	<p>日田市リノベーション事業 「地域エリアへ協働作業センターの設置」 （協同作業センターは、地域の方が集うコミュニティ広場の機能に加え、作業を通じて「やりがい」や「若干の収入」を得られる場所とする。作業は、軽作業、農作業のサポートなど複数から選択できるようにする。また、ボランティア団体の作業場としても活用できるようにし、市内の学校跡地を活用して複数設置する。運営は民間NPOなどが行い、作業を依頼する企業へ就職の斡旋や障がい者の自立支援の役割も担う。）</p>	<p>「つえ絆くらぶ」が、上津江町及び中津江村の地域で取り組んでいる内容を、さらに発展した形かと考えます。このような考えは今後必要と思われるますが、行政が主として取り組むより、地域や民間団体で制度の組み立てを行い、実施する事が望ましいと考えます。しかし、行政としても取り組みに関して必要な支援は検討したいと考えます。</p>	<共助> 検討する	—	—	地域振興課
提案募集	<p>日田市リノベーション事業 「高齢者世代との同居促進と単身高齢者の安心住居への移住支援」 （高齢者世代と同居することで「医療費抑制効果」が表れた同居世帯へ、その費用を還元する施策を整備し、同居を促す。あわせて、単身の高齢者の方には、市内中心部に「安心して暮らせるエリア」を設定し、そのエリアへの移住を促す。生活支援を効率化し、公共投資の抑制を目指す。）</p>	<p>高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』の実現に向けたさまざまな取組を実施しています。「安心して暮らせるエリア」を設定し、そのエリアへの移住を促すという考え方とはそぐわないと思われます。</p>	<公助> 実施しない	—	—	長寿福祉課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	日田市リノベーション事業 ・「旧行政区の解体と新たな地域エリアの設定とテーマの創造」 （旧行政区での地域づくりの考え方を廃止し、それぞれのエリアの特性に応じた新たな地域エリアを設定し、エリア毎にテーマを設定する。そのテーマは、住民・観光客にわかるように明示し、テーマに基づいてハード及びソフトの公共投資を行う。テーマに沿った活動を行う企業・団体にも支援を行う。）	地域の様々な振興策については、振興局管内単位等にこだわらず、その目的やテーマ、地域の実情、住民の意向等に応じて柔軟にエリア等設定すべきと考えます。	<公助> 検討する	—	○	企画課
提案募集	観光交流の促進に伴う地域の活性化 （林業・木材産業の現場見学やまち歩きをセットにした観光ツアー）	28年度実施予定の「全国産業観光フォーラム」を契機に、林業、農業などの基幹産業や再生可能エネルギー施設と観光を結びつけた「産業観光プログラム」を検討します。	<共助> 検討する	○	—	観光課 林業振興課
提案募集	筑後川「源流大学」の導入 （私たちの生活には森がもたらす水源の確保が大切である。筑後川上流域の森林の公益的機能を中心に学習できる「源流大学の導入」及び林業技術者の育成も行う）	現在、市では清流保全条例制定に向け筑後川上流域の自治体との連携を進めているところであり、環境保全の面では、市民環境会議（水と森部会等）で部会の活動を行うとともに市民環境講座を開催するなど、市内外を問わず、広く啓発を行うなど、既に類似の活動を行っています。 また、筑後川流域圏の自治体による「筑後川水源保全推進協議会」の設立に向けて準備をしており、連携についてはその中で取り組みます。	<共助> 取り組んでいる	—	—	環境課 林業振興課
提案募集	老人力を活用した地域力増産の取り組み（健康＋食＋心） （老人力を活用し、元気老人による地域活動への参加が重要である。そのため、元気な老人を育てる取り組みを提案する。1.健康管理・・・健康体操、ウォーキング、グランドゴルフ、血圧測定などを定時で行うように取り組む。2.健康寿命を支える食・・・長寿県を支える食事の研究、長寿食品（ニンニク、山芋、ごまなど）を利用し、健康食材と言われている発酵食品にも取り組む。3.安心して暮らせるためのコミュニティ・・・認知症などの予防トレーニング。※可能な範囲で経済活動をからませること。）	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』の実現に向けたさまざまな取り組みを実施しています。今後、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の中で、高齢者自身が、地域の中で支援を必要としている高齢者の支え手となるような仕組みづくりに取り組んでいきます。	<公助> 取り組んでいる （既存事業見直し）	—	○	長寿福祉課
提案募集	森の仕事 技術修得事業（ハローワークを活用した人材育成） （環境活動に関心のある若者（25～35才）の就業先として、森林・林業を選択できるように、森林の伐採技術等が職業訓練として取得できる仕組みが必要。施設として県の林業研究部、湯布院研修所、日田林工等）	担い手の実態調査を行い、国・県と連携しながら人材育成を図ります。	<公助> 取り組んでいる （既存事業見直し）	—	○	林業振興課
提案募集	福岡都市圏への通学・通勤快速列車の導入 （福岡都市圏を通勤圏にするためには、安定した交通手段の確保が重要である。）	導入の可否についてはJR九州の判断となりますが、移住定住を促進するため九州地域鉄道整備促進協議会等を通じ増便・時間短縮等積極的に働きかけ利便性の向上を促します。	<自助> 働きかけを行う	○	—	地域振興課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	学校・福祉・医療施設（木造建造物）の建設による海外戦略 （東南アジア地域を対象に木造建造物による学校・福祉・医療施設等の施設建設による地域支援）	海外向けについては、日田材出荷対策事業で、製材品等の輸出拡大に向けた取り組みを行っており、この事業を優先して進めたいと考えます。	実施しない	—	—	林業振興課
提案募集	森と木の専門職業大学の創設 （林業・木材産業及び建築に関わる専門職業大学を設置する。日田林工に併設し高校・大学と一貫した教育課程を組むことで高い技術の修得を目指す等）	担い手の実態調査を行い、国・県と連携しながら人材育成を図ります。 また、専門職業大学等の関連法案については、国の動向を注視します。	<公助> 取り組んでいる （既存事業見直し）	—	○	林業振興課
提案募集	グリーンツーリズムによる交流人口の増加と雇用の創出	市内では、現在、4団体が主に活動を展開しています。今後も活動団体との情報交換は基より、関係団体とも情報の共有を図りながら取り組みを推進します。	<共助> 取り組んでいる	—	○	観光課
提案募集	大山町の振興 （IT関連企業の誘致）	日田市企業立地促進条例の立地企業指定用件の緩和や優遇策の改善を行い、企業にとって少しでも進出しやすい条件整備を行います。	<公助> 取り組んでいる （既存事業見直し）	○	—	企業立地推進室
提案募集	大山町の振興 （大山町から天瀬町までの直通トンネルを通し、人と物の流れをつくる）	トンネル整備には莫大な費用を必要とすることから、費用対効果を考慮すると、事業化は困難と考えます。	<公助> 実施しない	—	—	都市整備課
提案募集	コンパクトシティの本気の実現 （JR光岡駅とJR日田駅、JR三芳駅の間は、1時間に1本の電車しかない。その間の1時間を日田市で借り受け、駅と駅間に多数の駅（500m間隔程度に市営の駅）を設置し、路面電車感覚で利用してもらう。老人や車の運転の出来ない人をその駅周辺へ移住させ、コンパクトシティを実現させていく。）	安全面、コスト面等を考えた場合、現実的に難しいと思います。	<公助> 実施しない	—	—	都市整備課
提案募集	筑後川源流水 良質な井戸水とお茶で農業振興 （お茶はおもてなしの基本です。観光にも役にたつはず。この源流水とお茶で「川と森の都日田市」のイメージを鮮明にする。その結果、水郷日田、椿鼻ハイランドパーク、鯛生生金山、フィッシングパークが有機的に結合するのではと思います。） お茶文化大革命 「しごと」を増やし、安心して働ける仕組みをつくる （お茶を通じておもてなし観光と農産物の6次産業化）	観光施設において、日田産のお茶の利用拡大とおもてなしを推進していきます。また、農業者が農産物を使った新商品開発に取り組むための事業を計画しており、6次産業の推進を図ります。	<共助> 新規事業	○	—	農業振興課 観光課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	ふる里創生課の設置 （積極的に地域に向いてアドバイスする専門職員の課を設置）	専門職員の確保は困難ですが、専門的知識を要する職員の育成や、外部人材の活用などを行い、地域づくりへの支援については、今後も積極的に行っていきます。	<公助> 既存事業見直し	—	—	企画課
提案募集	ふる里の日の制定を （イベントを含め、ふる里の日を日田市から制定してはどうか）	新たに「ふる里の日」を設ける予定はありませんが、市民の皆さんのふるさとを思う心が高まるよう、現在、取り組んでおります、コミュニティ活動の活性化、ふるさと納税制度及び次代を担う子どもたちの郷土を愛する心を育むふるさと教育の推進等につつまして、充実を図ってまいりたいと考えております。	<共助> 取り組んでいる	—	—	総務課
提案募集	多世代同居住宅の建築（改築）促進 （多世代同居居住住宅の建築（改築）促進する補助制度の導入）	3世帯以上の住宅新築、リフォームを行う場合に、日田材の普及と合わせた支援策を検討しています。	<公助> 新規事業	○	—	企画課
提案募集	日田市広報戦略の策定 （紙媒体、WEBサイト、SNS、映像等の情報技術の進化の中で、効果的な情報運用をおこなうための広報戦略の策定を、市民や専門家とともに行う。）	第6次総合計画の中で検討していきます。	<共助> 検討する	—	○	情報統計課
提案募集	リノベーションスクールの実施 （遊休不動産の活用を促進するために、実在の物件をテーマにリノベーション事業計画づくりを行う。）	市が所有する公共施設（建物）については、公共施設の総量の圧縮を図る観点から、民間への譲渡等を基本的な方針としていることから、この方針を前提に事業提案を頂ければ対応を図りたいと考えます。 また、民間が所有する不動産については、商工団体や宅地建物業取引協会等の関係団体と協議し、空き店舗情報の発信を検討します。リノベーションスクールについては、民間主体でも開催が可能なことから、必要に応じて検討したいと考えます。	<共助> 検討する	—	—	企画課 商工労政課
提案募集	ひな祭り、川開き観光祭、天領まつりについてゼロベースで見直し （それぞれの祭りについて見直す必要があるのでは）	まつりの内容等については、まつり実行委員会で協議を行い決定しています。それぞれの祭りについて、マンネリ化等の課題があることは認識していますが、現在のところ、ゼロベースの見直しは考えていません。	<共助> 検討する	—	○	観光課
提案募集	学校跡地利活用事業（市民立自然史博物館） 地域力を拓く （学校跡地を活用し、市民の所有する資源（収集資源＋人材）の有効活用により自然史の博物館を九州管内の大学等＋筑後川流域の交流による運営を行う。）	学校跡地の活用については、先ずはその地域の方が活用について検討する事としています。その後活用の考えがない場合に様々な検討をすることとしています。その中で今回の提案については、地域の方々に提案したいと考えます。	<共助> 検討する	—	—	地域振興課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
提案募集	若者1,000人の定住 （若者たちと米作り労働した経験から、その時の若者は、よく働き、希望に満ちていました。農業として生活する場合、米大豆で100万円、他の仕事で100万円と半農とその他で200万円ぐらいの収入がマックスではないでしょうか。しかしその時の若者たちは楽しく笑っています。自然の暮らしの知られざる魔術を活用した取り組みが必要である。国の施策を活用しつつ、思い切った施策に取り組むべきではないでしょうか。）	提案頂いた内容を参考に、今後の施策を検討します。	<公助> 検討する	—	—	企画課
提案募集	地域通貨「buy」の導入（地域振興、有償ボランティア促進策） （日田市独自地域通貨の発行を完全にWEBベースで行う）	導入にあたっては、関係団体との協力が不可欠となります。まずは十分な情報収集を行いたいと思います。	<共助> 検討する	—	○	企画課
提案募集	咸宜園第11代塾主育成事業 （現在の豆田・隈の観光に足りていないのは「ご利益」です。世界中のどの名称に行ってもある、旅のクライマックスは「祈り」。それなくして歴史観光はありえない。日田はそれを咸宜園で作ることができます。 就学旅行として、近隣小学校から研修として、咸宜園時代にされていた儀式、作法を学び、また日常は近代日本を作った朱子学を基礎から教えてくれる塾として、ご利益を与えられる11代の塾主を育て上げます。村を救う人間は、村のカンパで学ばせて作っていました。その村の代表が集まったのが咸宜園。今こそ日田がやらなければならないのです。）	咸宜園が日本遺産に登録され、観光振興の取り組みに繋げる必要があることから、現在、関係機関と連携し検討している所です。周知につきましては、今後も様々な取り組みが必要となりますことから、提案頂いた内容については今後の参考にさせていただきます。 また、朱子学を学ぶための留学費用等については、咸宜園のこれまでの歴史背景等を考えますと、難しいと考えます。	<共助> 検討する	○	—	企画課
事業提案	出稼ぎ支援（通勤手当実費文支援、ハローワークの紹介） （福岡圏への直通バスの増便と通勤手当の助成。また、ひた走り号のコース見直し。）	日田から福岡や久留米都市圏等への通勤・通学が、より容易になることは、本市の人口減少対策の重要課題の一つと考えていますので、ご意見の内容も参考に、民間バス会社や、JRに要請等行っています。 福岡圏域に通勤する方への支援については、現在検討しているところです。	<公助> 検討する	—	○	地域振興課
提案募集	下駄・着物ウィーク年3回実施 年3回、ひなまつり、祇園、天領まつりの時期は、市長、市議会議員、市役所職員は下駄を履いて着物を着て仕事をし、市民も広く協力しましょう、	下駄については執務室内に限り商工観光部門で使用した実績はありますことから、更に、日田の伝統的特産品等を活用した取組を進めます。	実施しない	—	—	総務課
事業提案	市民皆塾の実現（無料塾、反転授業の導入、カリキュラム作り、環境づくり） （私塾の町日田では、市内の子ども達が何らかの形で、学校外学習が出来るようにする。）	咸宜園の理念に基づき、子どもの学力向上や健やかな子どもの育成を図る為、土曜日や放課後、夏休みなどの長期休暇に、学校の教育活動以外の場面に広く学びの場を提供する必要があることから事業化し、“子ども咸宜園塾として”推進します。	<公助> 新規事業	○	—	学校教育課
事業提案	大分県立大学生物工学部誘致 （林業大学を誘致するのでは、単科大学的でネーミング的に学生にイメージが良くないので、バイオテクノロジー分野、遺伝子工学まで含めた生物工学部の誘致を目指す。将来的に学生の確保まで考えて）	農業や林業を中心に、技能の習得を目的とした教育機関の誘致に関する情報収集。市内の未利用施設(行政)の利活用を検討します。 提案いただいた内容については、今後検討する際の参考といたします。	<公助> 検討する	—	—	企画課
事業提案	日田市定住外国人による、英語助手授業 （JETプログラムでの英語授業を見直し、定住外国人による英語教育で、英会話力を育成する）	外国語指導助手としての資質や確実な人材を確保する必要があります。現行の「JETプログラム」は、研修制度が充実しており、安定した教育効果が図れると判断することから、事業の継続を行います。	<公助> 取り組んでいる	—	—	学校教育課
事業提案	遺伝子検査で生き生き人生都市 （遺伝子特性に応じた、生活行動改善、各種サービスの創生）	健康寿命の延伸を図るため、市民一人ひとりが主体的に健康の保持・増進に取り組む意識づくり等様々な取り組みを行っております。提案いただいた内容については、今後の参考とさせていただきます。	実施しない	—	—	企画課